

# 人口や経済などのデータから見る 秋田の現状

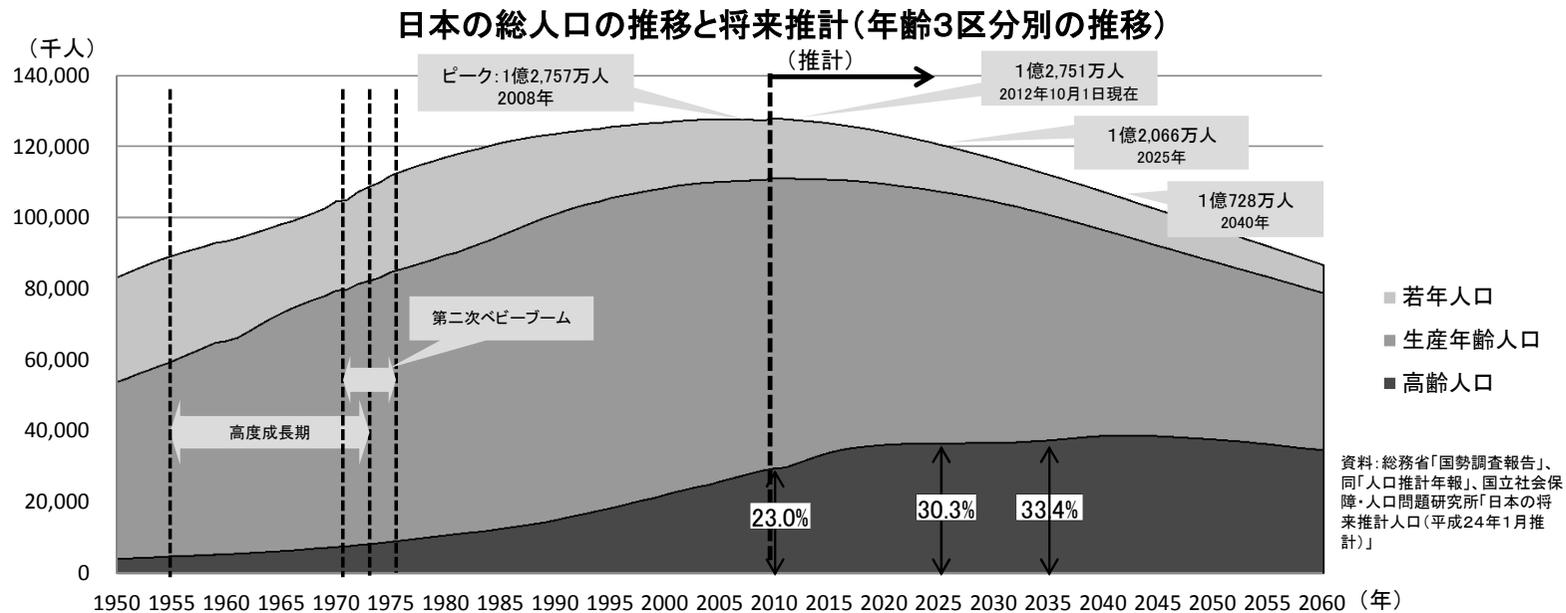
平成25年10月  
企画振興部  
総合政策課

## 目次

1	我が国における人口減少の急激な進行	3
2	秋田県の人口の推移と推計	4
3	国立社会保障・人口問題研究所の「地域別」人口推計	6
	・秋田県の市町村別の総人口、年齢別人口及び指数	8
	・市町村別人口減少率の見通し	9
	・秋田県の市町村別の年齢人口の割合	10
	・市町村別高齢化率の見通し	11
4	秋田県の経済・雇用の推移	12
	(1) 県内総生産と県民所得	12
	(2) 一人当たりの県民所得	13
	(3) 物価水準	14
	(4) 就業者数及び就業割合、雇用の状況	15
	(5) 農業	17
	(6) 林業	18
	(7) 水産業	18
	(8) 医療・介護	19
	(9) 教育・人づくり	20

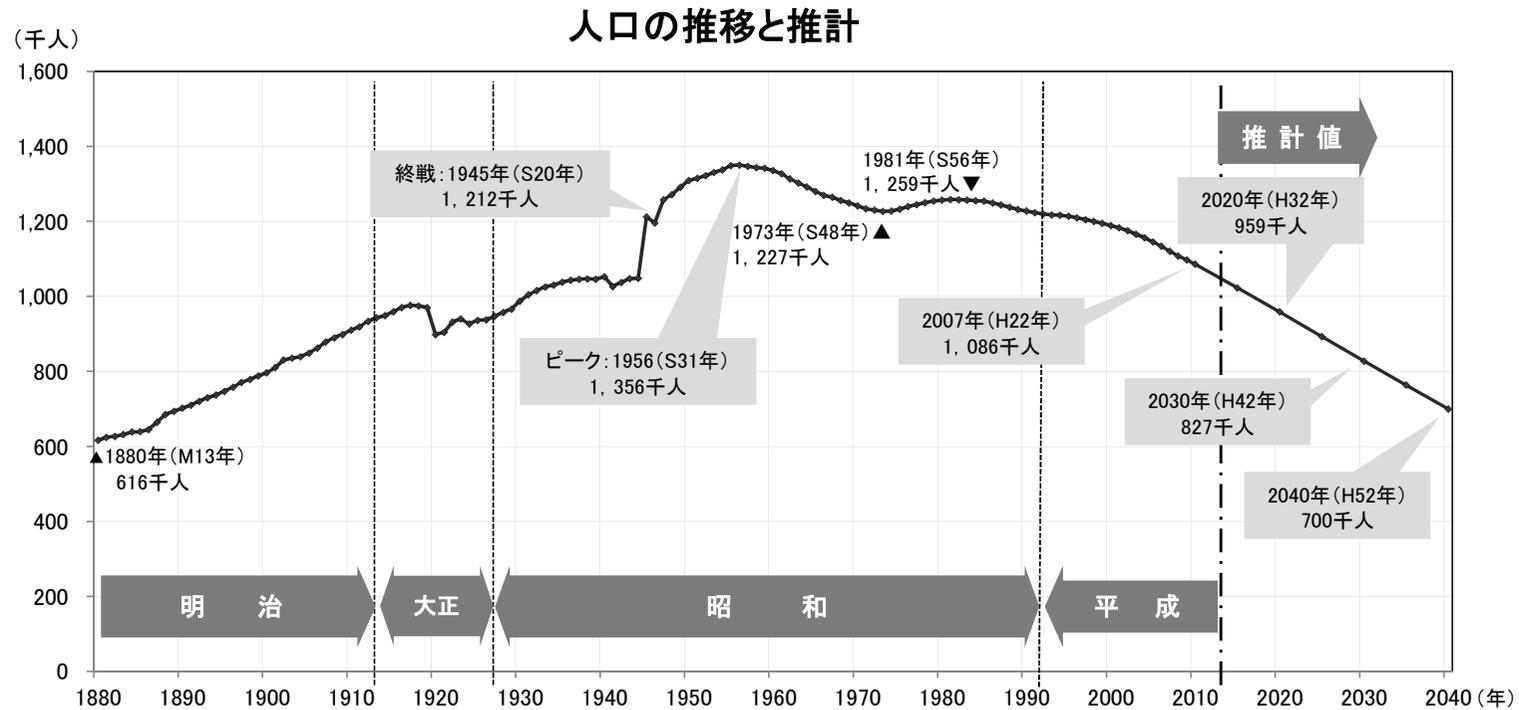
# 1 我が国における人口減少の急激な進行

- 日本の人口は、戦後の一時期を除き一貫して増加を続けてきましたが、高度成長期以降、家族形態の変化や晩婚化等により少産化が進み、2008年をピークに減少に転じており、2012年10月1日現在では、1億2,751万人となっています。
- 国立社会保障・人口問題研究所の人口推計(2012年・中位推計)によると、2025年には1億2,066万人に、2040年には1億728万人になるものと見込まれています。
- 合計特殊出生率は、第二次ベビーブーム以降、低下傾向が続いており、2008年以降、持ち直しの動きが見られるものの、2011年は1.37と人口置換水準(≒2.07)を大きく下回っています。
- 高齢者の割合は、年々上昇し2005年には20%を超え、2010年10月1日現在では、23.0%となっています。今後とも増加が進み、2025年には30.3%、2035年には33.4%になるものと見込まれ、世界的にも例を見ないスピードで人口減少と少子高齢化が進行するものと予測されています。



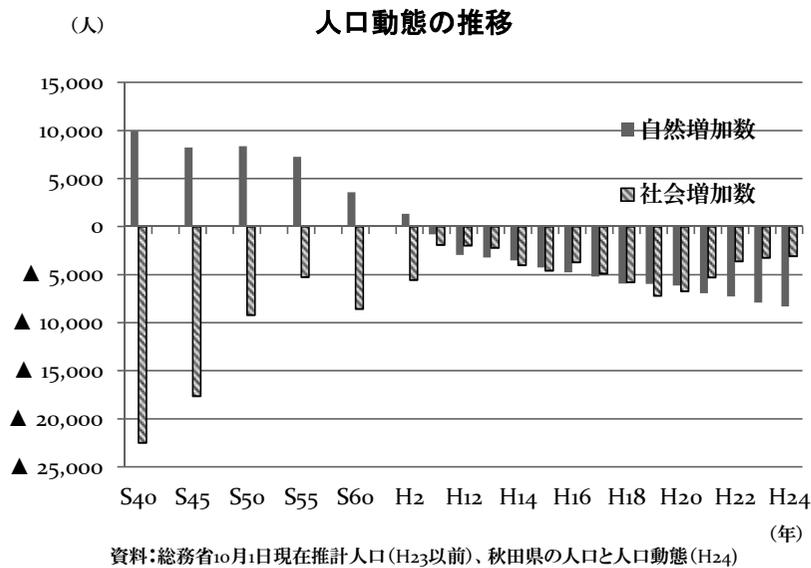
## 2 秋田県の人口の推移と推計

- 秋田県の人口は、昭和31年の135万6千人をピークに、昭和56年から減少の一途をたどり、平成12年以降の年平均減少率は1%を超え、全国で最大のペースで人口減少が進んでいます。
- 平成22年10月1日現在の秋田県人口は、108万6千人となっています。
- 国立社会保障・人口問題研究所の推計(平成25年3月)によると、平成32年までには100万人を割り込み、平成42年には83万人、平成52年には70万人を切るものと予測されています。



資料:日本の将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)H24.1

- 本県では、自然動態、社会動態とも減少している状況ですが、特に自然減が大きく拡大する傾向にあり、平成24年の自然減は8,293人、社会減は3,622人となっています。自然減が大きく増加している要因として、高齢人口の増加に伴う死亡者数の増加に加え、若者の転出や晩婚化、女性が子どもを産む数の減少に伴う出生数の低下があげられます。



人口動態指標の状況(平成24年)

合計特殊出生率			婚姻率		
順位	県名	率	順位	県名	率
1	沖縄	1.90	1	東京	6.9
2	島根	1.68	2	沖縄	6.3
3	宮崎	1.67	3	愛知	5.9
24	岩手	1.44	7	宮城	5.3
24	山形	1.44	28	福島	4.7
33	福島	1.41	43	青森	4.3
37	秋田	1.37	43	岩手	4.3
38	青森	1.36	43	山形	4.3
41	宮城	1.30	47	秋田	3.8
45	北海道	1.26			
46	京都	1.23			
47	東京	1.09			

資料:平成24年人口動態統計

### 3 国立社会保障・人口問題研究所の「地域別」人口推計

- 発表 平成25年3月
- 推計期間 平成22年(2010)～52年(2040)の30年間(5年ごと)
- 推計対象 全国の市区町村(ただし福島県は県単位で推計)
- 推計方法 コーホート要因法

- ・「コーホート」:ある年(期間)に生まれた集団

- ・ある年の男女・年齢別人口を基準に、市区町村ごとに出生、死亡、移動の仮定を当てはめて将来人口を推計

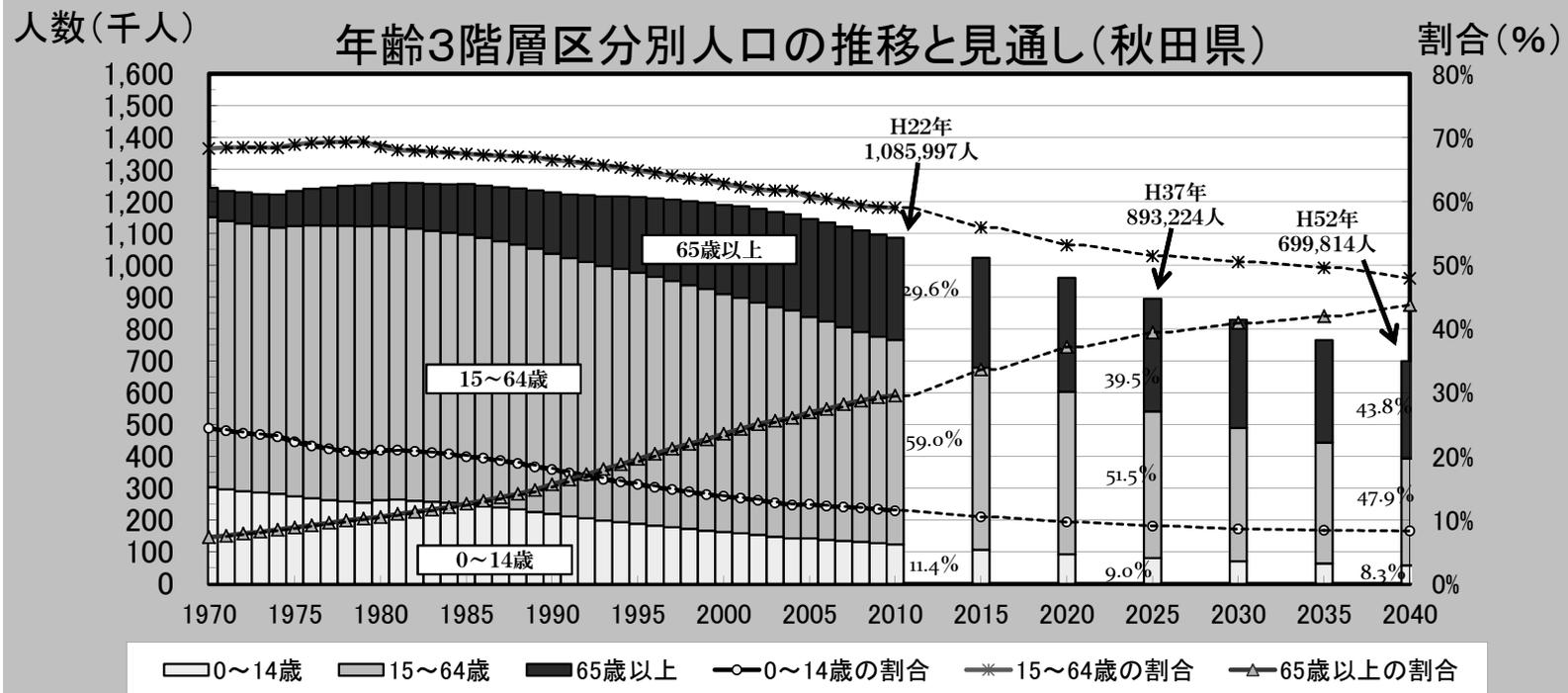
- ・市区町村ごとに行った推計を、平成24年1月発表の「日本の将来推計人口(出生中位・死亡中位仮定)」の全国人口の値に合わせて、一律に補正

- ※平成24年1月の全国推計は、出生・死亡のそれぞれで高位・中位・低位の3ケースで実施。

- ※都道府県計は市町村の値の積み上げ

- ・移動の仮定は、市区町村ごとに平成17～22年に観察されたものをもとにしている。

- 同推計によると、平成52年の本県の年少人口は5万8千人で県内総人口に占める割合は8.3%、同年の生産年齢人口は、33万5千人で47.9%と減少し、いずれの割合も全国最低と予測される一方で、同年の65歳以上人口は、30万6千人に減少するものの、その割合は全国最多の43.8%と予測されています。



資料：日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)H25.3

- 市町村別の人口増減を見ると、平成52年には、約半数の13市町村で人口減少率が40%を超え、特に、小坂町、上小阿仁村、藤里町、五城目町、の4町村では、50%を超えるものと推計されています。また、年齢別人口では、大潟村を除く24市町村で、14歳以下の年少人口が10%を切るほか、65歳以上の高齢者人口は、男鹿市、上小阿仁村、藤里町、三種町、八峰町、五城目町の6市町村で50%を超えるものと推計されています。

## 秋田県の市町村別の総人口、年齢別人口及び指数(2010年=100とした場合)

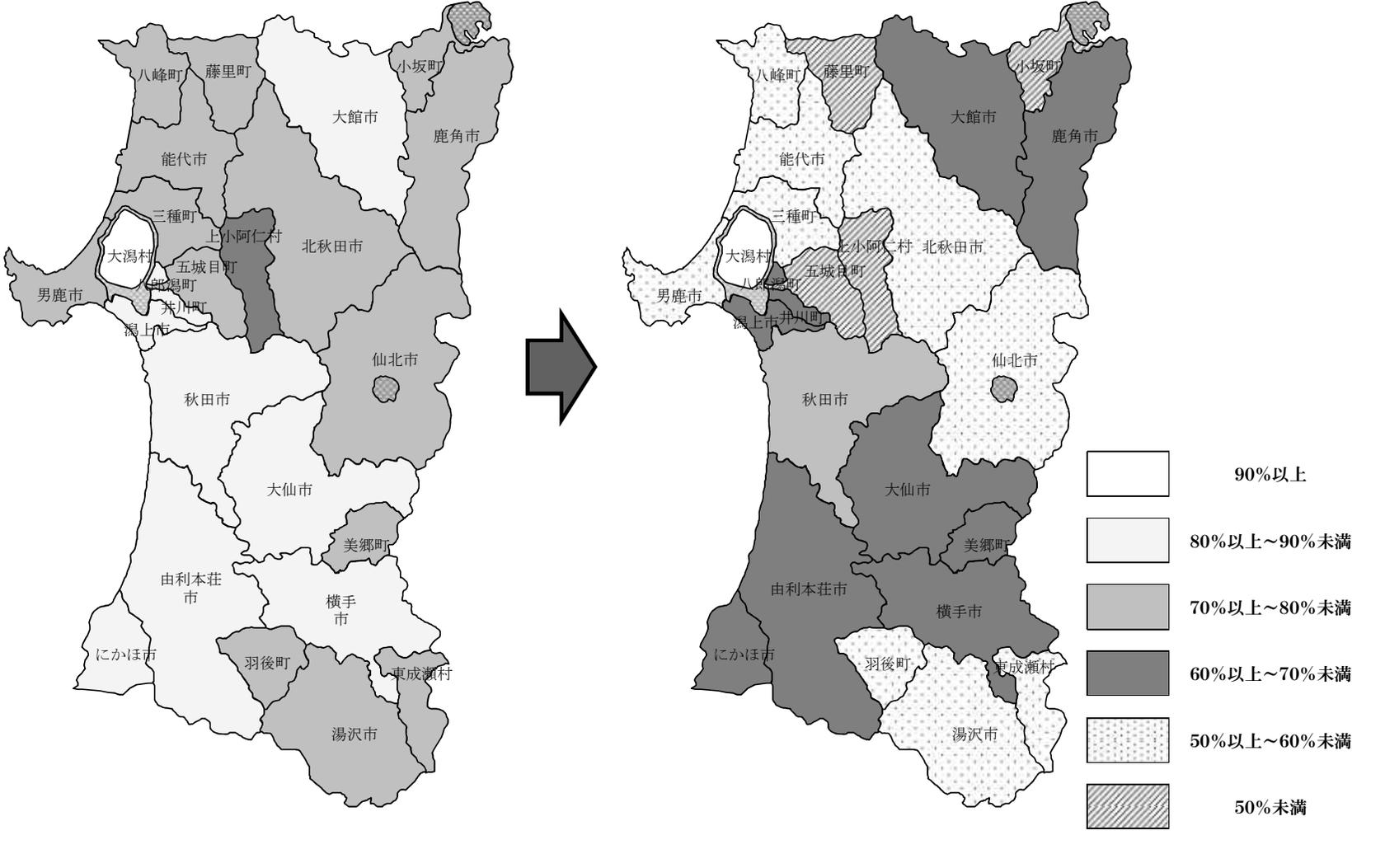
自治体	総人口(人)			0-14歳人口(人)			15-64歳人口(人)			65歳以上人口(人)			75歳以上人口(人)		
	2010年	2040年	指数	2010年	2040年	指数	2010年	2040年	指数	2010年	2040年	指数	2010年	2040年	指数
秋田県	1,085,997	699,814	64.4	124,091	58,303	47.0	640,878	335,078	52.3	321,028	306,433	95.5	175,336	199,096	113.6
秋田市	323,600	235,500	72.8	39,592	19,508	49.3	206,032	116,263	56.4	77,975	99,729	127.9	39,562	61,699	156.0
能代市	59,084	34,739	58.8	6,532	2,791	42.7	33,255	15,959	48.0	19,297	15,989	82.9	10,456	10,337	98.9
横手市	98,367	63,466	64.5	11,371	5,776	50.8	56,116	30,443	54.3	30,880	27,247	88.2	17,832	18,089	101.4
大館市	78,946	51,183	64.8	9,027	4,442	49.2	44,883	24,866	55.4	25,036	21,875	87.4	13,468	14,136	105.0
男鹿市	32,294	16,328	50.6	2,773	966	34.8	18,522	7,121	38.4	10,999	8,241	74.9	6,032	5,738	95.1
湯沢市	50,849	28,396	55.8	5,691	2,117	37.2	28,606	12,614	44.1	16,552	13,665	82.6	9,536	9,104	95.5
鹿角市	34,473	21,140	61.3	3,996	2,066	51.7	19,126	10,137	53.0	11,351	8,937	78.7	6,252	5,883	94.1
由利本荘市	85,229	56,462	66.2	9,966	5,074	50.9	50,404	27,810	55.2	24,859	23,578	94.8	13,870	15,684	113.1
潟上市	34,442	23,548	68.4	4,247	1,819	42.8	21,286	11,443	53.8	8,909	10,286	115.5	4,496	6,528	145.2
大仙市	88,301	55,357	62.7	9,743	4,855	49.8	50,637	26,753	52.8	27,921	23,749	85.1	15,929	15,749	98.9
北秋田市	36,387	18,630	51.2	3,581	1,382	38.6	19,549	7,958	40.7	13,257	9,290	70.1	7,452	6,495	87.2
にかほ市	27,544	18,008	65.4	3,347	1,548	46.3	16,219	8,881	54.8	7,977	7,579	95.0	4,260	4,866	114.2
仙北市	29,568	16,743	56.6	3,179	1,399	44.0	16,462	7,516	45.7	9,927	7,828	78.9	5,589	5,371	96.1
小坂町	6,054	3,014	49.8	610	236	38.7	3,235	1,367	42.3	2,209	1,411	63.9	1,179	890	75.5
上小阿仁村	2,727	1,246	45.7	213	67	31.5	1,299	494	38.0	1,215	685	56.4	728	477	65.5
藤里町	3,848	1,820	47.3	344	130	37.8	1,997	737	36.9	1,507	953	63.2	863	643	74.5
三種町	18,876	10,006	53.0	1,811	632	34.9	10,529	4,125	39.2	6,536	5,249	80.3	3,721	3,730	100.2
八峰町	8,220	4,179	50.8	812	254	31.3	4,469	1,689	37.8	2,939	2,236	76.1	1,680	1,455	86.6
五城目町	10,516	4,991	47.5	912	276	30.3	5,723	2,169	37.9	3,881	2,546	65.6	2,134	1,735	81.3
八郎潟町	6,623	4,069	61.4	682	284	41.6	3,879	1,813	46.7	2,062	1,972	95.6	1,140	1,390	121.9
井川町	5,493	3,389	61.7	610	244	40.0	3,128	1,510	48.3	1,755	1,635	93.2	997	1,111	111.4
大潟村	3,218	2,895	90.0	506	409	80.8	1,884	1,558	82.7	828	928	112.1	358	561	156.7
美郷町	21,674	13,363	61.7	2,369	1,103	46.6	12,454	6,538	52.5	6,851	5,722	83.5	3,985	3,868	97.1
羽後町	16,792	9,623	57.3	1,846	772	41.8	9,602	4,498	46.8	5,344	4,353	81.5	3,237	3,025	93.5
東成瀬村	2,872	1,719	59.9	330	153	46.4	1,582	816	51.6	960	750	78.1	579	532	91.9

出典: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成25年3月推計)

# 市町村別人口減少率の見通し (2010年=100)

2025年

2040年

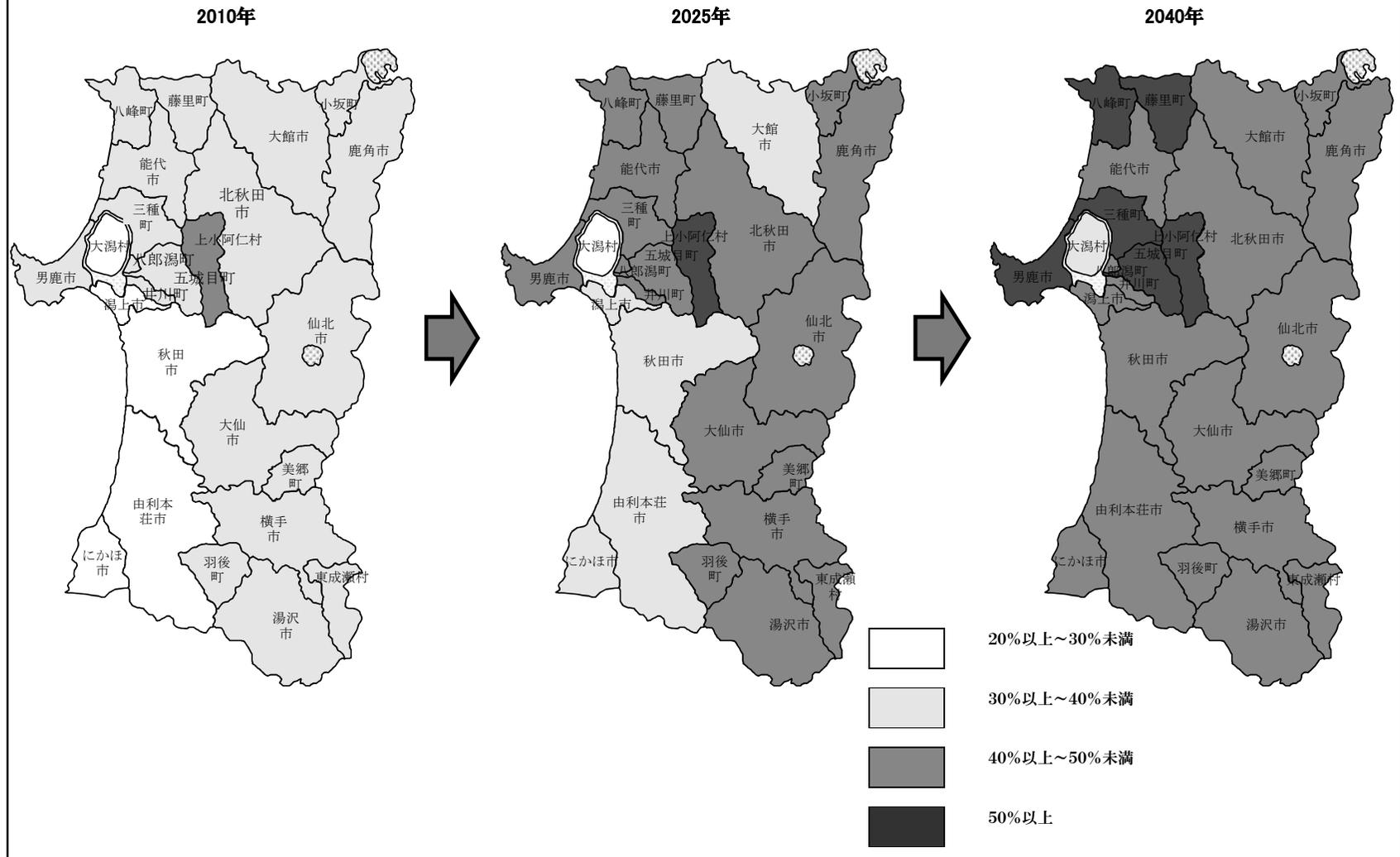


## 秋田県の市町村別の年齢別人口の割合

自治体	0-14歳の割合(%)		15-64歳の割合(%)		65歳以上の割合(%)		75歳以上の割合(%)	
	2010年	2040年	2010年	2040年	2010年	2040年	2010年	2040年
秋田県	11.4	8.3	59.0	47.9	29.6	43.8	16.1	28.4
秋田市	12.2	8.3	63.7	49.4	24.1	42.3	12.2	26.2
能代市	11.1	8.0	56.3	45.9	32.7	46.0	17.7	29.8
横手市	11.6	9.1	57.0	48.0	31.4	42.9	18.1	28.5
大館市	11.4	8.7	56.9	48.6	31.7	42.7	17.1	27.6
男鹿市	8.6	5.9	57.4	43.6	34.1	50.5	18.7	35.1
湯沢市	11.2	7.5	56.3	44.4	32.6	48.1	18.8	32.1
鹿角市	11.6	9.8	55.5	48.0	32.9	42.3	18.1	27.8
由利本荘市	11.7	9.0	59.1	49.3	29.2	41.8	16.3	27.8
潟上市	12.3	7.7	61.8	48.6	25.9	43.7	13.1	27.7
大仙市	11.0	8.8	57.3	48.3	31.6	42.9	18.0	28.4
北秋田市	9.8	7.4	53.7	42.7	36.4	49.9	20.5	34.9
にかほ市	12.2	8.6	58.9	49.3	29.0	42.1	15.5	27.0
仙北市	10.8	8.4	55.7	44.9	33.6	46.8	18.9	32.1
小坂町	10.1	7.8	53.4	45.4	36.5	46.8	19.5	29.5
上小阿仁村	7.8	5.4	47.6	39.6	44.6	55.0	26.7	38.3
藤里町	8.9	7.1	51.9	40.5	39.2	52.4	22.4	35.3
三種町	9.6	6.3	55.8	41.2	34.6	52.5	19.7	37.3
八峰町	9.9	6.1	54.4	40.4	35.8	53.5	20.4	34.8
五城目町	8.7	5.5	54.4	43.5	36.9	51.0	20.3	34.8
八郎潟町	10.3	7.0	58.6	44.6	31.1	48.5	17.2	34.2
井川町	11.1	7.2	56.9	44.6	32.0	48.2	18.2	32.8
大潟村	15.7	14.1	58.5	53.8	25.7	32.1	11.1	19.4
美郷町	10.9	8.3	57.5	48.9	31.6	42.8	18.4	28.9
羽後町	11.0	8.0	57.2	46.7	31.8	45.2	19.3	31.4
東成瀬村	11.5	8.9	55.1	47.5	33.4	43.6	20.2	30.9

出典:国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成25年3月推計)

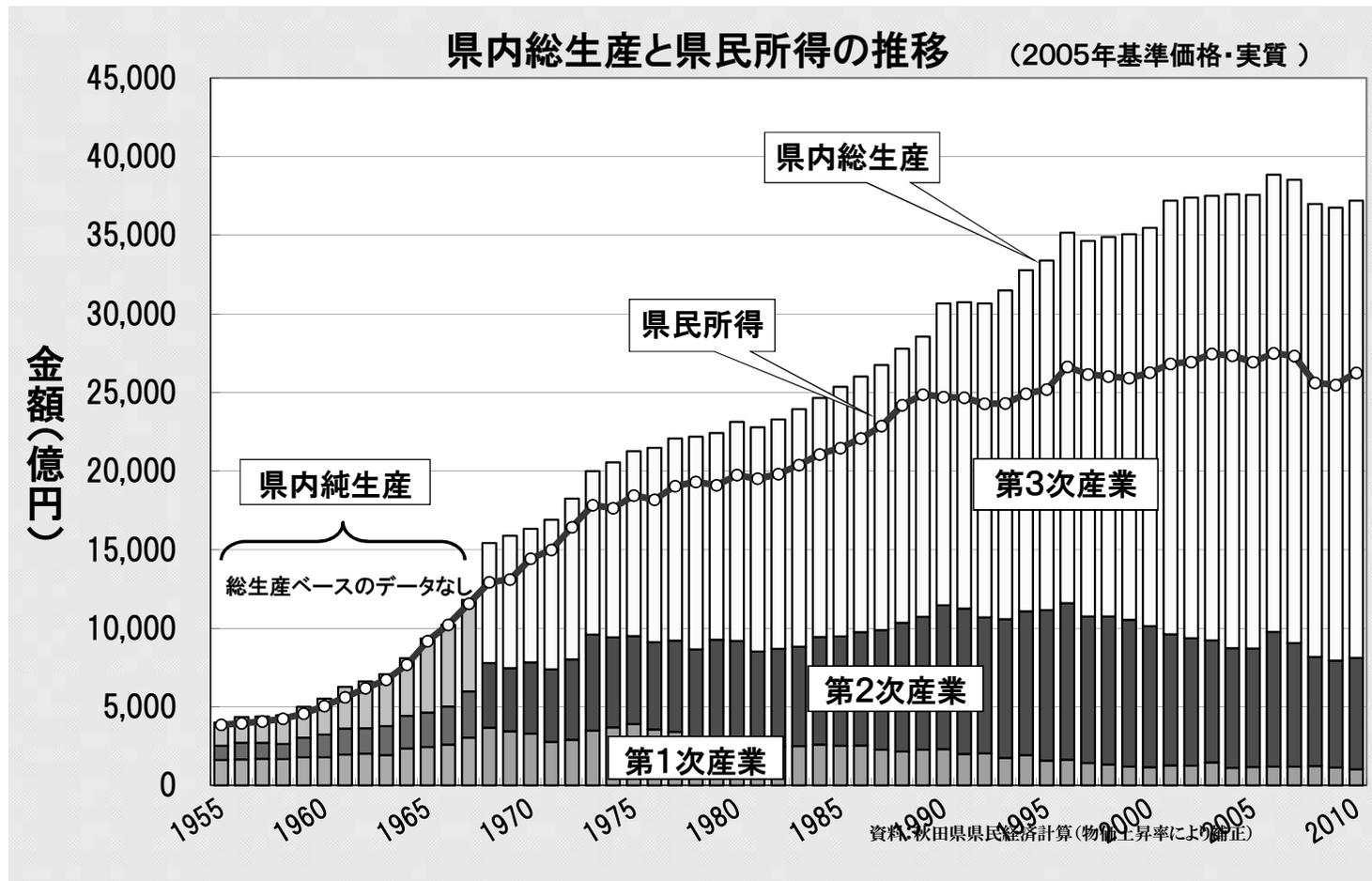
### 市町村別高齢化率の見通し



## 4 秋田県の経済・雇用の推移

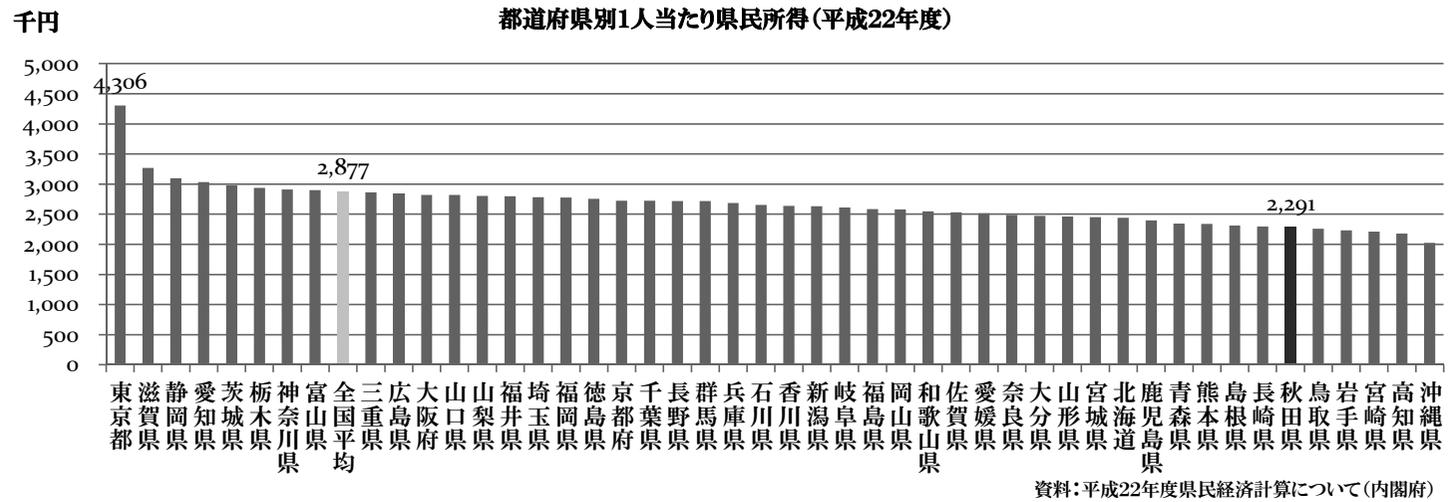
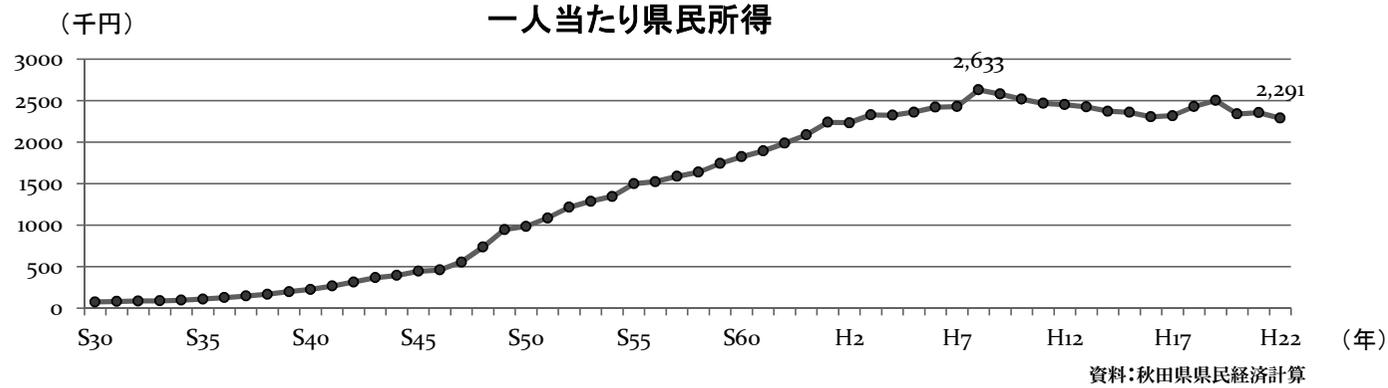
### (1) 県内総生産と県民所得

- 県内総生産を見ると経年とともに増加していましたが、2000年代に入り横ばい傾向にあります。
- 1990年代後半以降は、第一次及び第二次産業の生産額が減少し、第三次産業が増加しています。



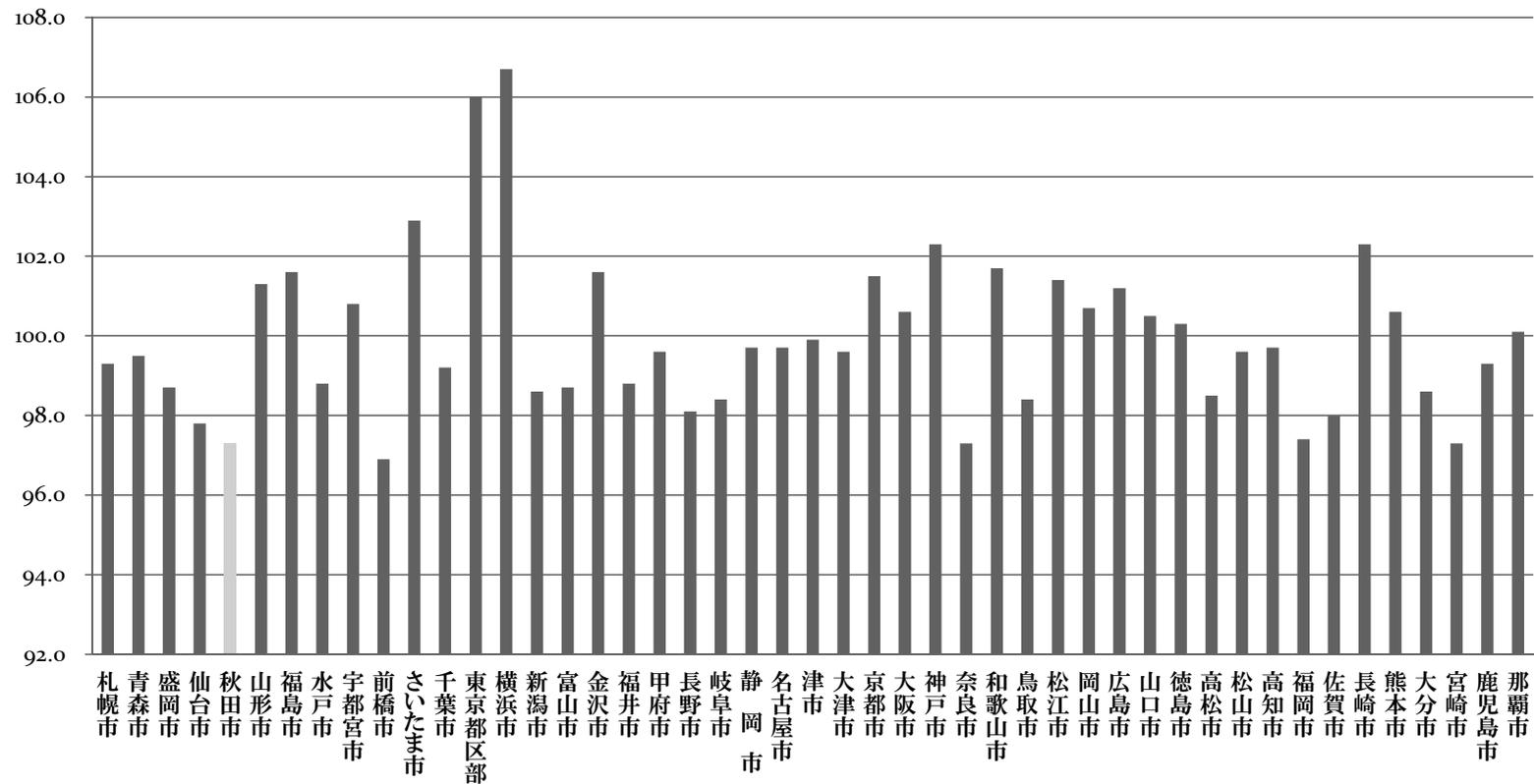
(2) 一人当たりの県民所得

○ 平成22年度の秋田県の一人当たりの県民所得は、2,291千円で全国42位となっています。全国的に見ると、東京都が4,306千円と最も高く、全国平均は、2,877千円となっています。



### (3) 物価水準

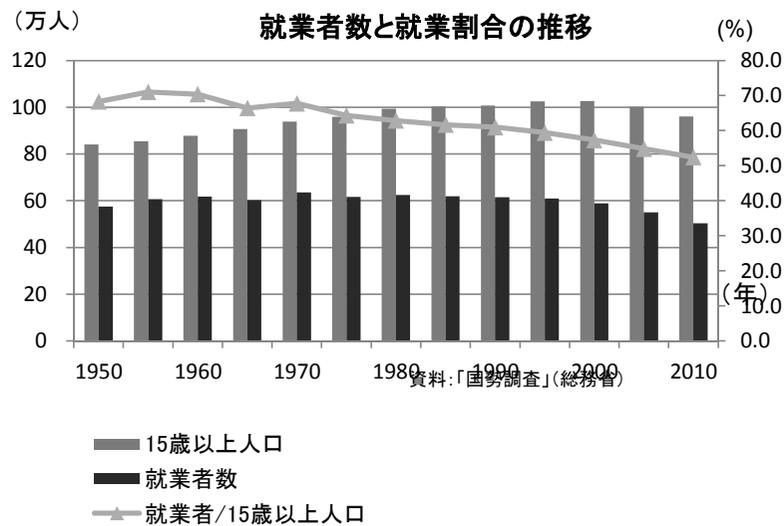
○ 平成24年平均消費者物価地域差指数(平均=100)の総合指数を都道府県庁所在市別にみると、秋田市は97.3で、前橋市に次いで全国で2番目に低くなっている。



#### (4) 就業者数及び就業割合、雇用の状況

- 本県の就業者数は人口減少とともに年々減少を続けており、平成22年は、国勢調査ベースで50万3千人となっています。また、同年の15歳以上人口に占める就業者数の割合は、約52%で年々比率が下がっています。
- リーマンショック等の影響により落ち込んだ有効求人倍率は、近年回復の傾向にありますが、全国に比べるとまだ低い状況にあります。

#### 新規・有効求人倍率



	秋田県		全国	
	新規求人倍率	有効求人倍率	新規求人倍率	有効求人倍率
H19年度	0.90	0.61	1.47	1.02
H20年度	0.68	0.43	1.08	0.77
H21年度	0.64	0.32	0.79	0.45
H22年度	0.80	0.45	0.93	0.56
H23年度	0.98	0.57	1.11	0.68
H24年4～6月	1.13	0.70	1.28	0.80
H24年7～9月	1.12	0.69	1.30	0.81
H24年10～12月	1.12	0.70	1.33	0.82
H25年1月	1.03	0.67	1.33	0.85
H25年2月	1.07	0.68	1.35	0.85

資料:「有効求人倍率と完全失業率の推移」  
(秋田労働局)

- 経済活動別の就業者は、第一次産業が、約5万2千人で全就業者に占める割合が10%、第二次産業が約12万9千人で25%、第三次産業が約34万6千人で65%となっています。
- 昭和55年以降の推移を見ると、第一次産業の就業者数が1/3程度に減少しているほか、第二次産業についても昭和55年の7割程度に減少しています。その一方で、第三次産業は、サービス業の就業者数の大幅な増加等により、1割程度増えています。

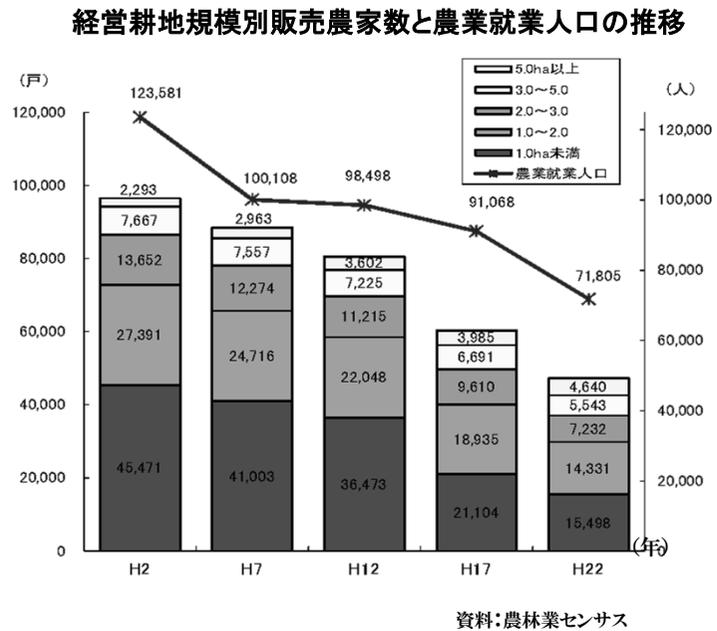
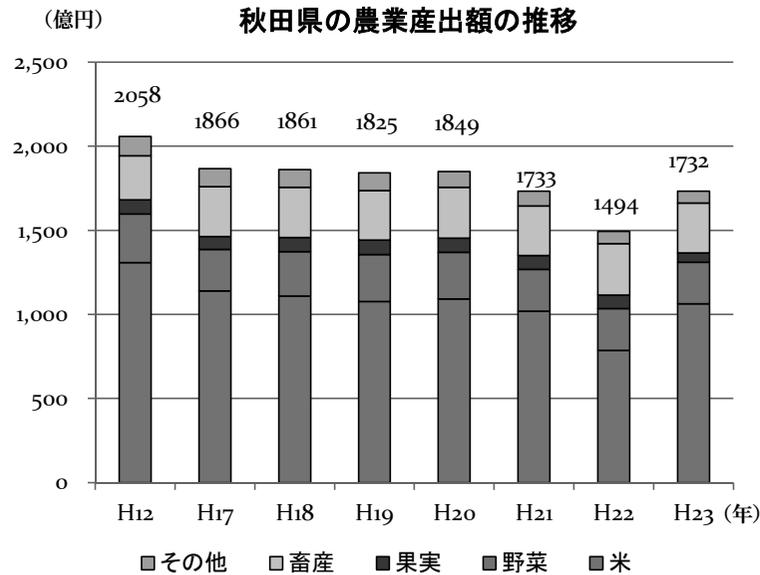
### 経済活動別就業者数の推移

	S55 (1980)		S60 (1985)	H2 (1990)	H7 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	
	就業者数	構成比	就業者数	就業者数	就業者数	就業者数	就業者数	就業者数	構成比
第1次産業	150,549	23.5%	136,970	107,293	81,122	65,351	62,030	52,009	9.9%
農林水産業	150,549		136,970	107,293	81,122	65,351	62,030	52,009	
第2次産業	184,272	28.7%	185,162	196,788	197,000	183,298	149,920	129,230	24.5%
鉱業	5,374		4,750	2,087	1,934	1,580	1,058	713	
建設業	79,806		65,311	65,346	76,880	75,766	62,337	50,585	
製造業	99,092		115,101	129,355	118,186	105,952	86,525	77,932	
第3次産業	306,682	47.8%	307,561	320,570	342,199	351,709	354,316	346,157	65.6%
電気・ガス・熱供給・水道業	3,845		4,055	4,115	4,757	4,882	4,884	5,252	
運輸・通信業	33,904		31,046	29,646	29,771	28,983	32,553	30,683	
卸売・小売業	105,718		101,781	100,026	102,485	100,803	99,364	92,021	
金融・保険業	14,201		15,343	16,109	15,625	14,406	10,774	10,792	
不動産業	1,861		1,853	2,104	2,404	2,505	2,637	3,075	
サービス業	84,771		89,413	110,946	125,451	134,838	139,593	137,919	
公務・その他	62,382		64,070	57,624	61,706	65,292	64,511	66,415	
計	641,503		629,693	624,651	620,321	600,358	566,266	527,396	

資料：秋田県県民経済計算

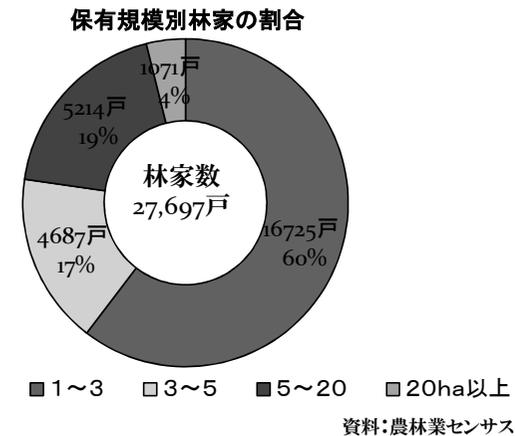
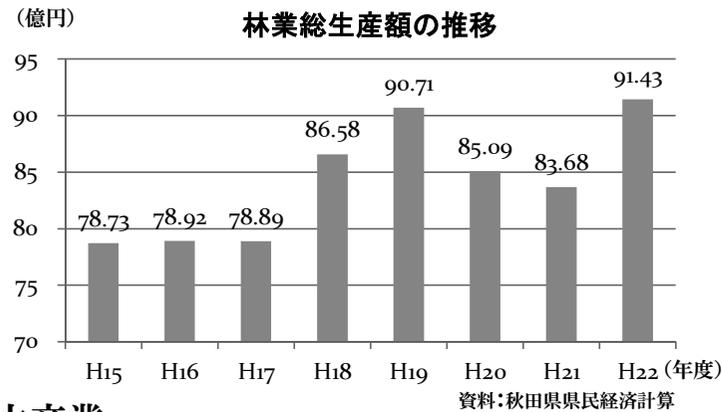
### (5) 農業

- 平成23年の本県の農業産出額は、1,732億円で、前年より238億円増加しています。内訳は、米1,062億円(61.3%)、畜産296億円(17.1%)、野菜247億円(14.3%)、果実56億円(3.2%)で、米に大きく依存した構造となっています。
- 県内の農業就業人口は、年々減少しており、平成22年は、71,805人となっています。また、総農家数も減少していますが、5ha以上の大規模農家の割合が増加しています。



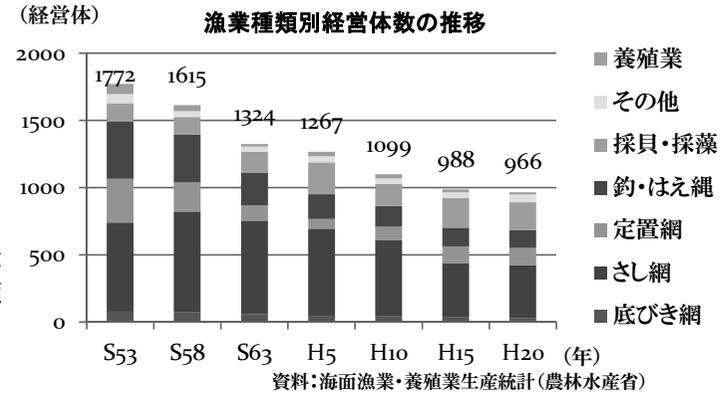
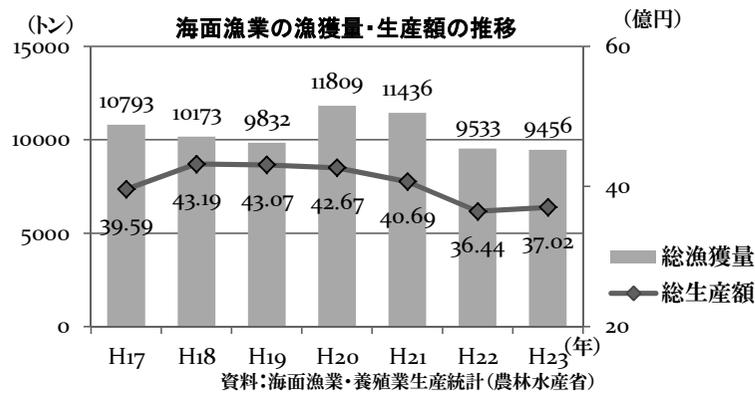
(6) 林業

○ 平成22年度の林業総生産額は、前年より9%増の91億円となっています。また、1ha以上の山林を所有する林家は27,697戸ありますが、その約8割が、5ha以下であり、零細な所有構造になっています。



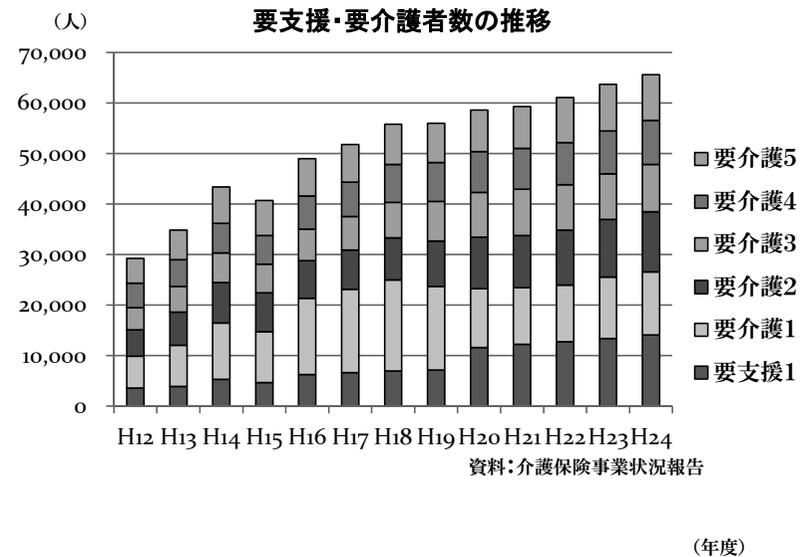
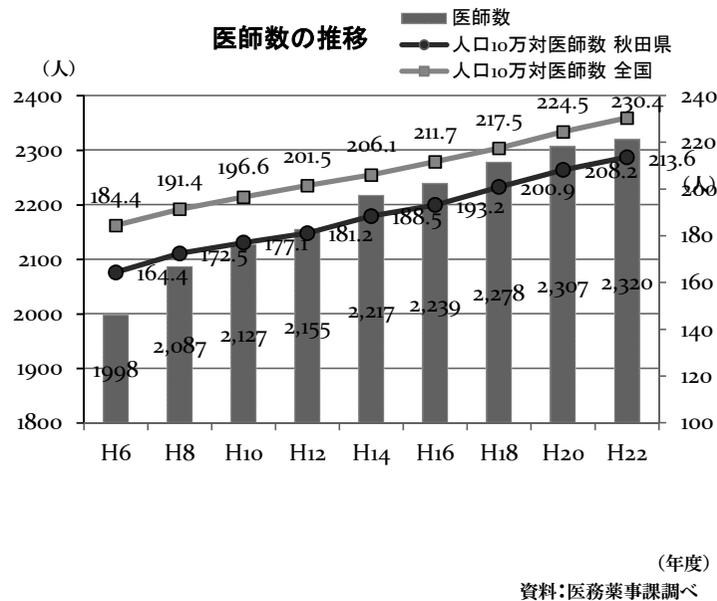
(7) 水産業

○ 平成23年の海面漁業生産量は9,456トンで、前年比99%と横ばいでしたが、生産額は前年比102%の37億円となっています。また、海面漁業経営体は減少を続け、平成20年には966経営体となり、最盛期であった昭和53年に比較すると約半数となっています。



## (8) 医療・介護

- 地域医療を支える医師については、増加傾向にありますが、全国平均を下回り、依然として医師総数の不足が続いています。
- 要支援・要介護認定を受けた者は、介護保険開始時よりも約2.3倍に増加しています。  
また、高齢者がいる世帯の割合が、53.1%と全国平均を大きく上回っており、高齢者のひとり暮らし(単身世帯)や高齢者夫婦世帯の割合が年々増加しています。



## (9) 教育・人づくり

- 学校数、児童・生徒数は減少を続けており、特に小学生数及び小学校数の減少が顕著となっています。
- 平成19年度から始まった全国学力・学習調査(平成23年度は震災の影響により中止)では、秋田県の子どもは、6回連続全国トップレベルの結果となっています。
- 少子化を背景に大学・短大への進学者数が減少傾向にあり、本県の県内高卒者の大学及び短大への進学率は平成25年度では43.8%となっています。

